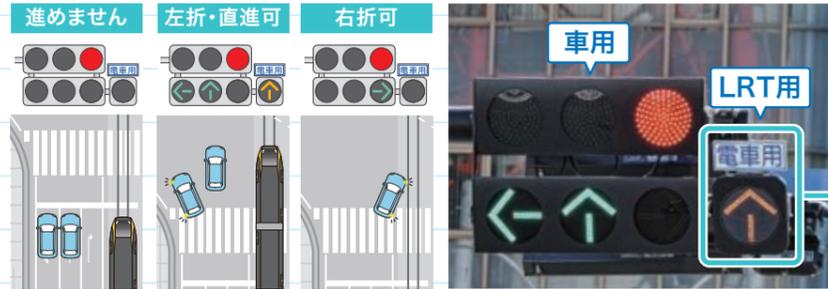


# 知って安心 7つの交通ルール

車 二輪車

## 1 黄色の矢印はLRT専用

ドライバーの皆さんは、これまで通り車の信号表示に従ってください。



LRTは「黄色の矢印」が

- 点灯時に 進みます
- 消灯時は 進みません

この形の信号機で黄色の矢印が単独で点灯することはありません。  
※「芳賀町工業団地管理センター前」停留場を除く。

## 2 軌道敷内は走行できません (道路交通法第21条)

ただし、以下の場合、軌道敷内を通行することができます。

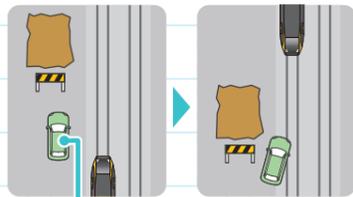
右左折・直進・Uターンのために横切るとき



軌道敷を横切るときは、軌道敷内で停車することがないように、進行先の混雑状況を十分確認してください。

危険防止のためやむを得ないとき

工事や倒木などで道幅に十分な広さがなるときは、軌道敷内を通行することができます。



軌道敷内へ進入する場合は、必ずミラーと目視で安全を確認してください。その際、LRTが接近している場合は、一時停止して通過するのを待ちましょう。

## 3 停留場へ出入りする歩行者に注意

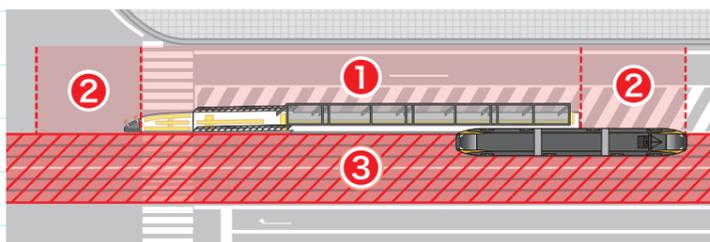
停留場のある交差点を通行するとき、歩道だけではなく停留場からの横断歩行者にも十分注意してください。



## 4 軌道敷内や停留場の近くは駐停車できません (道路交通法第44条)

以下の場所では、停車も駐車もしてはいけません。

- 1 停留場の左側
- 2 停留場の前後の側端から10m以内
- 3 軌道敷内



歩行者 自転車

## 5 軌道敷を渡るときの注意点

電車の踏切と同じように、軌道敷を渡るときも十分に注意しましょう。

立ち止まらない



立ち止まることなく速やかに横断してください。

ななめに渡らない



レールの溝に自転車、車いす、ベビーカーの車輪がはまらないよう直角に渡りましょう。

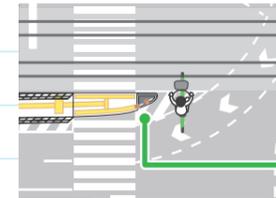
スリップに注意



雨などでレールが濡れている場合は滑るおそれがあるので注意しましょう。

## 6 交通島に注意

交差点を自転車で通過する場合は、交通島にぶつからないよう注意して走行しましょう。



交通島

停留場のある交差点には、車の進入を防止するための「交通島」があります。

車 歩行者 自転車 二輪車

## 7 接近表示器で安全を確認

以下のような場所には、接近表示器が設置されています。

- 道路と軌道敷が交差する場所
- 信号機のない停留場
- 軌道敷の横断場所 (ルート全域で16箇所あります)

接近表示器と併せて、目視でも安全を確認した上で通行しましょう。



接近表示器についてイラストや動画で見る

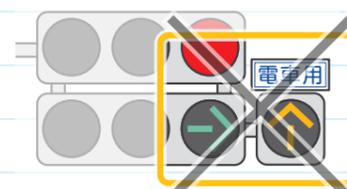
接近表示器

LRTが接近すると音声・文字・光で知らせます。

矢印 ← は LRTの進行方向

「電車がきます」の表示がされている間は横断しないでください

安心ポイント! 車の右折とLRTの直進の同時表示はありません



この組み合わせの表示はありません

LRTと車が交差しないように信号で制御されます

初めてLRTが走る地域特性を踏まえ「芳賀・宇都宮LRT」では「右直分離方式」を採用しており、車の右折とLRTの直進が同時に表示されることはありません。

動画でさらによくわかる!

